

平成29年度 秋田県立横手支援学校 読書活動推進計画

図書情報教育部

1, 学校教育目標

一人一人の能力や特性を伸ばす教育活動を推進し、自立と社会参加を目指してたくましく生きる児童生徒を育成する。

2, 読書活動からめざす児童生徒の姿（平成28年度より継続）

- 読書活動に親しみ、読書をする楽しさを知っていたり、伝えたりする姿。
- 読書活動を通して経験したことや得た知識などを用い、自分で考えたり判断したり、表現したりする姿。

3, 現段階の状況と課題

- ・年間2回の読書月間及び読書週間を設定している。読書月間には、自立活動の時間において外部ボランティアを活用した読み聞かせ会や読み聞かせを主とした活動とした全校集会、朝読書の実施（高等部のみ）をしている。読書週間では、教師、外部ボランティアによる読み聞かせや図書教材を用いた国語学習（高等部のみ）を展開している。
- ・高等部では、県立図書館及び市立図書館の特別貸出を活用し、3か月程度の間隔で100～120冊程度新しい本を展示している。また、伊藤忠財団を活用することにより、ダイジー図書の寄贈を受けることができた。
- ・各学部の普通教室近くに、図書コーナーを運営している。学部ごとに、教育目標、生活目標、保健目標に基づいた本や季節や行事、話題の本を集めたテーマ展示を実施したり、職員の推薦図書を展示したりしている（小学部）。
- ・学校の図書室運営や選書、配架等の県立図書館による職員訪問を年2回実施した。
- ・図書放送委員会の活動の中で図書の整理やポスター作成などの活動に取り組んでいる。
- ・展示方法の工夫や読み聞かせ活動の充実、朝読書の実施により、本を手にする児童生徒の姿が以前より見られるようになり、本に対する興味関心が高まってきている。
- ・横手支援学校を支える会より予算を付けていただいたが、児童生徒の人数に対しての蔵書は依然として少ない。
- ・管理及び貸出システムが構築されていなく、正しく蔵書管理及び紛失防止するためのシステムの必要がある。

4, 平成29年度の取り組み

(1) 目標

- 読書月間及び読書週間に、各学部のねらいに応じた読書活動を積極的に取り入れた学習場面を設定する。
- 各学部の図書室や図書コーナーの展示を工夫したり計画的に運営したりして、生徒が気軽に本を手に取り、興味関心を広げることができるような読書環境を整えるように努める。
- 生徒の読書活動を進めていくために、貸し出しシステムを工夫し、蔵書管理の正確性を高める。

(2) 具体的な実践計画

	全 校			各 学 部		
	読書活動充実 に向けて	読書環境の整 備	地域資源の 活用	読書活動充実 に向けて	読書環境の整 備	地域資源の活用
4	児童生徒の読書活動に対する実態把握			図書コーナー運営・壁面		県立図書館特別 貸出
	貸し出しシステムの構築					
5				図書オリエン テーション		
6	読書月間		県立図書館 職員訪問	小：読書週間		
7	(6/19~7/14)			小：読書週間(3~7) 中高：読書週間(10~14)		県立図書館特別 貸出
8		図書室整備	県立図書館 研修			
9	蔵書管理のシステム化					市立図書館特別 貸出
10						県立図書館特別 貸出
11	読書月間		県立図書館 職員訪問			
12	(11/20~12/15)			全校：読書週間(4~8)		
1		図書室整備				県立図書館特別 貸出
2						
3		台帳整理				